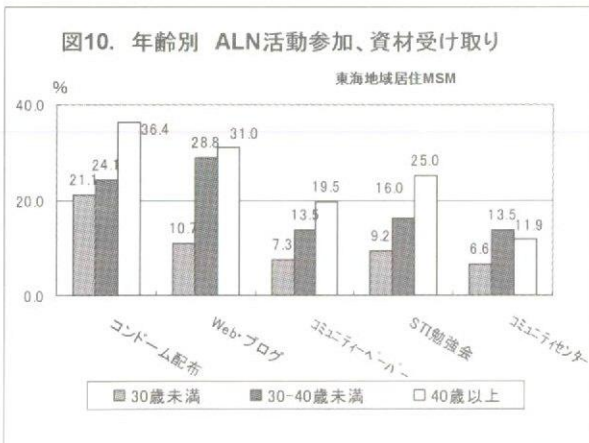


パー、コミュニティーセンター、STI 勉強会) への接触度、参加、認知について尋ねた。東海地域に在住する MSM に限定して分析を行ったところ、啓発用コンドームは 25%のものが受け取り経験を有しており、もっとも接触率が高かった(図 9)。年齢別にプログラムへの参加、資料受け取り経験の関連をみると、全体的に年齢が高い層の方が資料の受け取り、プログラムへの参加率が高かった(図 10)。

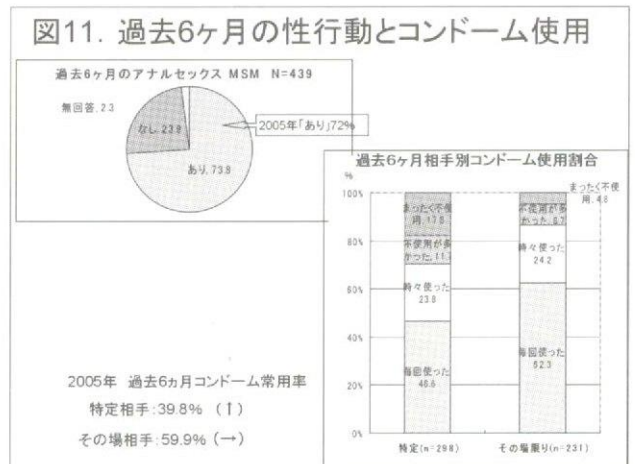


6. 性行動、コンドーム使用

1) 過去6ヶ月の性行動

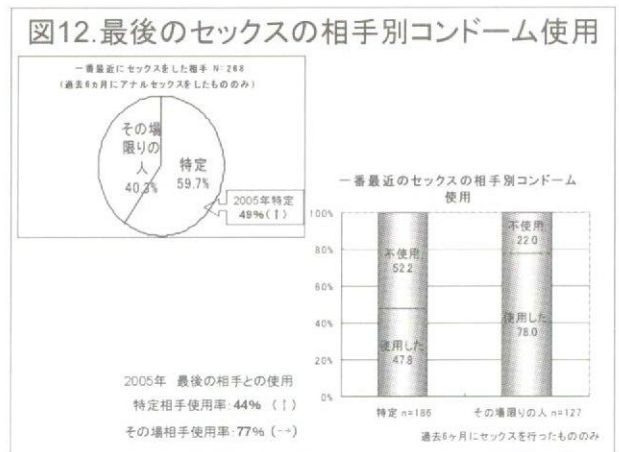
過去6ヶ月のアナルセックスの有無については、74%が「ある」と回答した。過去6ヶ月にアナルセックスの経験があるもののうち、特定の相手とのセックスでのコンドーム常用割合は 47%であ

り、その場限りの相手とのセックスでの常用割合は 62%であった。また特定の相手とのセックスでのコンドームを全く使用しなかったものの割合は 18%であり、その場限りの相手とのセックスでは5%であった(図 11)。



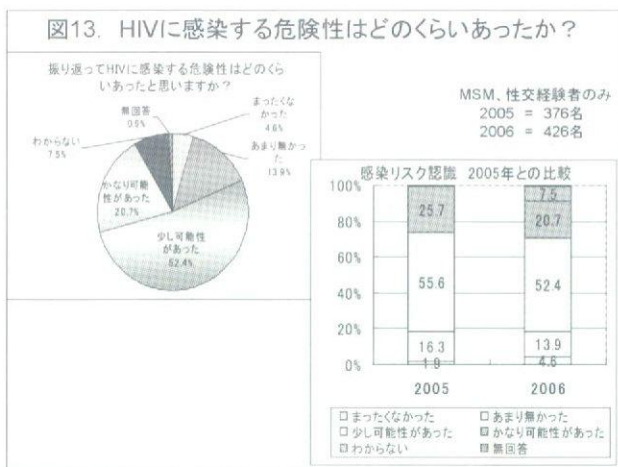
2) 最後のセックスの相手とコンドーム使用

過去6ヶ月にアナルセックスの経験があるもののうち、最後のセックスの相手が「特定の相手」であったものが60%、「その場限りの相手」であったものが40%であった。最後のセックス時のコンドーム使用に関しては、特定の相手とは48%が、またその場限りの相手とは78%が「使用した」と回答した(図 12)。



7. 感染リスクの認識

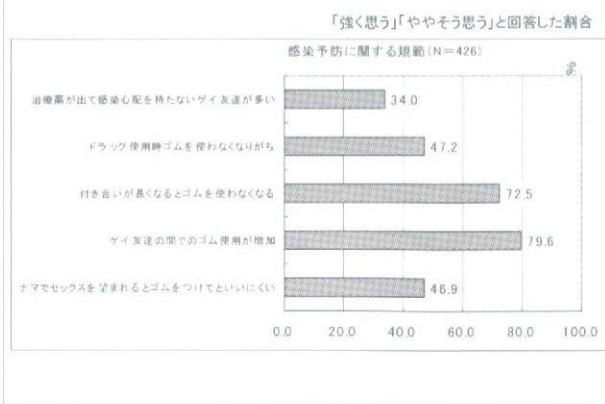
対象者に自分の行動を振り返って、HIV に感染するリスクがどのくらいあったと思うかの問いに対しては「かなり可能性があった」と回答したのは21%で、「少し可能性があった」と回答したものを含めるとおよそ7割のものが自身の感染の可能性を意識していた（図13）。



8. コンドーム使用やエイズ治療に関する考え

男性とのセックス経験を持つMSMに対してコンドーム使用やエイズ治療に対する考え方について尋ねた。「ゲイ友達の間でコンドーム使用が増加している」「付き合いが長くなるとコンドームを使用しなくなりがちである」という考えに対して「強く思う」、「ややそう思う」と回答したものの割合はあわせてそれぞれ80%、73%と高かった（図14）。

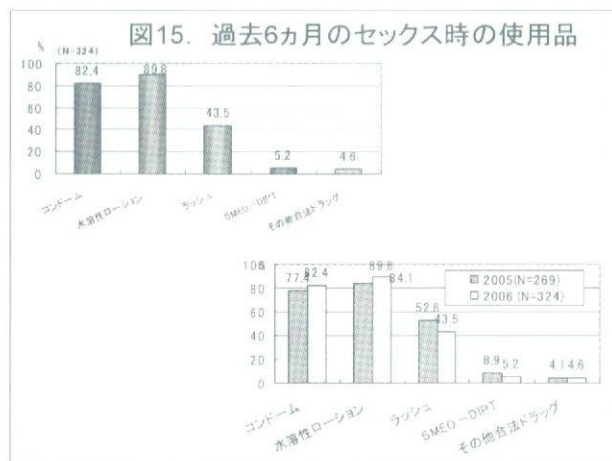
図14.コンドーム使用やエイズに関する考え (N=426)



9. 過去6ヶ月のセックス時の併用品、商業施設の利用

1) 過去6ヶ月のアナルセックス時の併用品

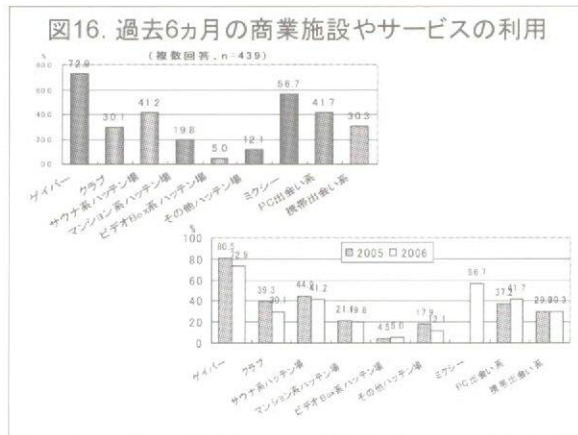
過去6ヶ月にアナルセックスの経験があるものうち、アナルセックス時の併用品を複数回答にてたずねたところ水溶性ローションを挙げた者が90%と最も多く、コンドームの使用が82%であった（図15）。



2) 過去6ヶ月に利用した商業施設やサービス

過去6ヶ月に利用した商業施設はゲイバーをあげたものが73%と最も多かった。インターネット関連では、ミクシーが57%と高く、パソコンのインターネットで出会い系サイトが42%、携帯電話出会い系サイトは30%であり

利用率が高いことが示された (図 16)。

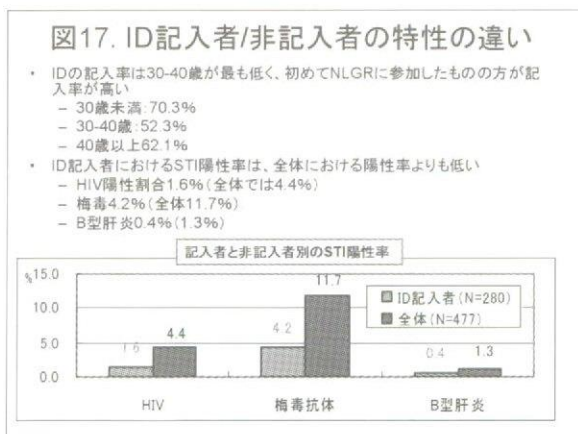


II. 年齢別にみた検査行動とニーズ、検査会の受検動機、ALN 活動の認知度、予防行動の実態
付表1 2006年 NLGR・HIV 抗体検査会 年齢別集計結果参照のこと

III. STI (梅毒抗体、HIV、B 型肝炎)陽性者と陰性者の比較

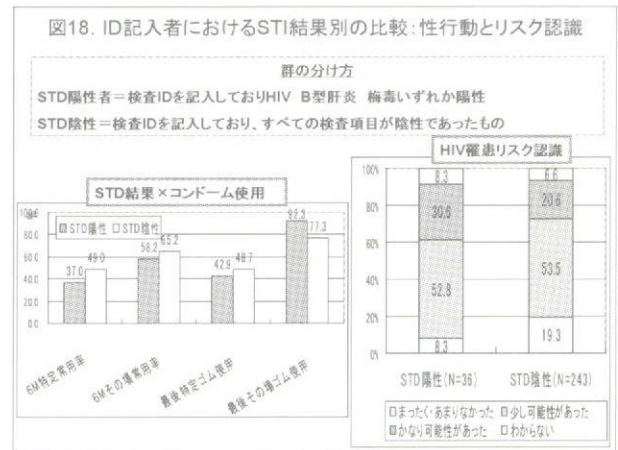
今回の研究では、回答者へ任意で検査結果とリンクしている ID の記入を依頼した。その結果、全回答者のうち 61%が検査 ID を記入した。ID を記入したものが、記入しないものよりすべての性感染症の陽性率は低いことが明らかになった (図 17)。

1) ID 記入者と非記入者の特性の違い

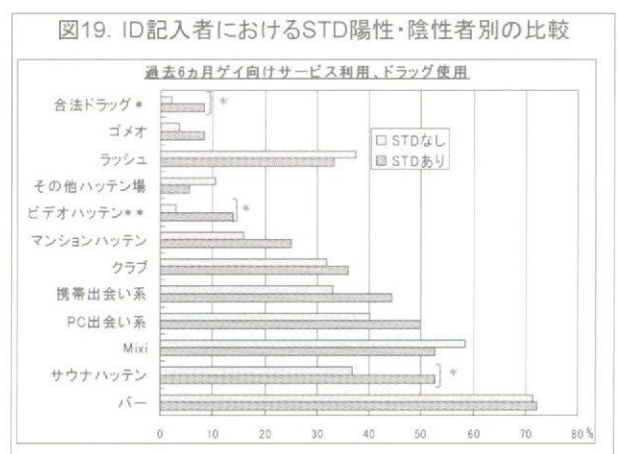


2) STI 結果とコンドーム使用の関連、HIV 感染のリスク認識

過去6ヶ月のコンドーム使用率はSTI 陽性の方が低く、STI 陽性の方が、HIV に罹患するリスクに関して「かなりあった」と回答している割合が高かった (図 18)。



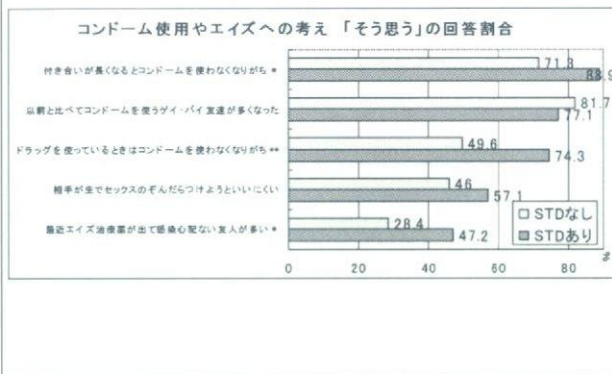
4) STI 結果とゲイサービスの使用
STI 陽性者と陰性者にて、合法ドラッグ、ビデオボックス系ハッテン場、サウナ系ハッテン場の使用割合には差がみられ、陽性の方が利用率が有意に高かった (図 19)。 (P<0.05)



5) STI 結果とコンドーム使用やエイズに対する考え

STI 陽性者の方が陰性者より「付き合いが長くなるとコンドームを使用しなくなりがちである」「ドラッグを使っているときはコンドームを使わなくなりがちである」「エイズ治療薬が出て感染の心配がない友人が多い」の考えに関して、「そう思う」と回答した割合が高かった。

図20. ID記入者におけるSTD陽性・陰性者別の比較



IV 生涯の検査受検経験と検査受検理由、アナルセックス時のコンドーム使用 (*付表2 2006年 NLGR・HIV 抗体検査会 年齢別集計結果参照のこと)

1) 検査会の受検理由

2006年検査会の受検動機は、全体では「感染の不安があるから」、「ほかの人に感染させたくない」が多かったが、検査経験別に比較すると、初めて検査を受けるものは「情報に触れて心配になった」「友達や恋人と一緒に受けるから」という理由を挙げた割合が、検査経験があるものより高かった

結果21 検査経験別検査会の受検理由② (複数回答N=350)

		生涯でのHIV検査経験		p値
		あり(n=254)	なし(n=86)	
		人 (%)	人 (%)	
1. 感染可能性があるから	あり	79 (31.1)	26 (30.2)	1.000
	なし	175 (68.9)	60 (69.8)	
2. 体調変化による感染不安	あり	12 (4.7)	5 (5.8)	0.775
	なし	242 (95.8)	81 (94.2)	
3. 情報に触れて心配	あり	43 (16.9)	32 (37.2)	0.000
	なし	211 (83.1)	54 (62.8)	
4. 性感染症にかかった	あり	10 (3.9)	3 (3.5)	1.000
	なし	244 (96.1)	83 (96.5)	
5. 新しい恋人ができた	あり	36 (14.2)	17 (19.8)	0.230
	なし	218 (85.8)	69 (80.2)	
6. 恋人や友達と受ける	あり	38 (15.0)	23 (26.7)	0.022
	なし	216 (85.0)	63 (73.3)	

注) 欠損値を分析より除外したため各項目の総数が異なる

結果22 検査経験別検査会の受検理由② (複数回答N=350)

		生涯でのHIV検査経験		p値
		あり(n=254)	なし(n=86)	
		人 (%)	人 (%)	
7. 身近な人の感染が判明	あり	16 (6.3)	5 (5.8)	0.316
	なし	238 (93.7)	81 (94.2)	
8. ただ単に知りたい	あり	96 (37.8)	42 (48.8)	0.077
	なし	158 (62.2)	44 (51.2)	
9. 定期的に検査受検している	あり	102 (40.2)	1 (1.2)	0.000
	なし	152 (59.8)	85 (98.8)	
10. 他の人に感染させたくない	あり	84 (33.1)	35 (40.7)	0.239
	なし	170 (66.9)	51 (59.3)	
11. HIV感染者の増加を知った	あり	48 (18.9)	22 (25.6)	0.217
	なし	206 (81.1)	64 (74.4)	

注) 欠損値を分析より除外したため各項目の総数が異なる

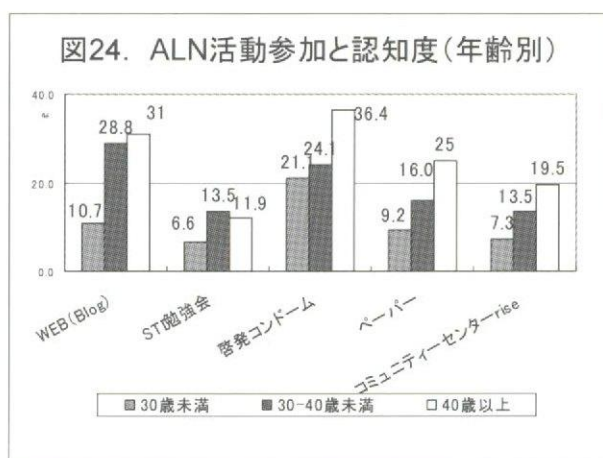
2) 検査受検経験とコンドーム使用

図23. 過去6ヵ月アナルセックス時コンドーム使用

	生涯でのHIV検査経験		p値
	あり	なし	
	人 %	人 %	
特定相手コンドーム使用			
毎回(100%)	87 (52.4)	20 (36.4)	0.031 ^{*)}
時々	39 (23.5)	15 (27.3)	
使わないこと多かった	14 (8.4)	7 (12.7)	
全く使用せず(0%)	26 (15.7)	20 (36.4)	
その場限り相手コンドーム使用			
毎回(100%)	85 (63.4)	17 (43.6)	0.045 ^{*)}
時々	33 (24.6)	16 (41.0)	
使わないこと多かった	9 (6.7)	4 (10.3)	
全く使用せず(0%)	7 (5.2)	2 (5.1)	

3) 検査経験別の ALN 活動への参加・認知

ALN の活動の参加・認知度は、すべてのプログラムにおいて、検査経験のあるもの、年齢層が高いものほうが有意に高いことが明らかとなった(図 24)。



D. 考察

昨年度と同じく全国各地からの参加者があり、20-30 歳代の参加者が 8 割以上を占めていた。

過去 1 年間の受検経験があるものは全体のうち 58% を占めたが、その検査場所として 67% が 2005 年 NLGR 検査会をあげており、検査会の受検をきっかけに地域の検査機関で検査を受検するようになったものが未だに少ない実態が示された。NLGR・HIV 抗体検査会の受検をきっかけに、受検ニーズのある者が地域での保健所や公的検査機関において受検することができるための検査環境の整備や情報の提供を早急にすすめる必要があるだろう。

東海地域居住者における保健所の HIV 抗体検査の受検経験を有しているものは 30% であり、休日検査の受検割合は 5.9% と非常に低いことが明らかとなり、認知率に関しても昨年より低下している実態が示された。保健所の HIV 抗体検査の利便性について「利用しにくい」と回答したものが約 3 割

いたが、その理由として、「検査時間が限られている」ことを理由に挙げたものの割合が最も高く、検査場所や時間を知らないという回答も見られた。これらの利用しにくい理由は、検査を認知はしていても、行動にはつながっていない阻害要因となっていることが考えられる。受検しやすく利便性の高い HIV 検査場所を認知していることは検査受検行動の促進因子となることが考えられ、今後は現在実施されている夜間・休日検査など利便性に配慮した検査の存在を、検査場所や時間の詳細な情報を含めて、より幅広くゲイ・バイセクシュアル男性に向けて宣伝していく必要があることが示された。ただし、夜間に検査を実施している保健所は、非常に限られており、今後もゲイ地域ボランティア団体、保健医療専門職と研究者、行政と協働し、夜間検査など利便性に配慮した検査サービスの拡大をはかることが受検環境の向上を図る上で重要である。

ALN の活動への接触率に関しては、啓発コンドーム受け取りが最も高かった。

年齢層別に分析を行うと、若い年齢層ほどお友達を通じて検査会を知ったものの割合が高く、ALN 啓発プログラムの接触度が低く、周囲に HIV 陽性者の友人がいる割合が低いことが明らかになった。ゲイバー、クラブ、ミクシー、出会い系サイトの利用は年齢層が若い方が、利用割合が高かった。より性行動が活発な若者層への HIV やエイズに関する情報の浸透は重要であることが考えられ、今後はこれらの若い年齢層が利用するサービスなども考慮に入れ、より幅広い年齢層に届く啓発活動の方法を模索していく必要があるだろう。

いずれかの STI 検査結果が陽性のものの方が過去 6 ヶ月間の特定相手とのコンドーム使用率が低く、HIV の感染リスクを高く認識しているものの割合が高く、「付き合いが長くな

るほどコンドームを使いづらい」「ドラッグの使用時はコンドームを使いづらい」「エイズ治療薬が出て感染に不安のない友達が多い」と回答しているものの割合が高かった。

HIV 検査会の検査を受検する理由については、生涯初めて受検するものは「恋人や友達と一緒に受けるから」という理由を挙げるものが、受検経験があるものよりも多かった。このことは、これまで検査を受検する機会がなかったものでも、恋人や友人と一緒に受ける、あるいは友人に誘われるといった対人関係上の出来事が初めての受検のきっかけとなる可能性があることを示唆している。友人と検査を受検することは自身の結果が友人に分かってしまう可能性があるなど、プライバシー保護の面で問題が発生する可能性があるため、特に結果通知の際は個別に対応するなどの配慮が必要となる。しかしながら、ゲイ・バイセクシュアル男性への検査行動促進への働きかけを行う際には、検査行動には当事者をとりまくゲイ・バイセクシュアル男性の友人の行動が影響を与えていることを考慮に入れた介入をおこない、より多くの未受検者への検査促進が図ることが重要となるだろう。

今後は、より地域で検査を受検しやすい体制を整備し、受検経験が無いものに対する受検勧奨を効果的に実施する必要がある。また、若い年齢層を含めた幅広い層に各年齢層別の特性を考慮に入れつつ検査や予防行動に関する情報や介入プログラムを浸透させていく必要がある。

E. 発表論文等

研究論文

1) 金子典代、内海眞、市川誠一. 東海地域のゲイ・バイセクシュアル男性の HIV 抗体検査の受検動機と感染予防行動 (審査中)

国内学会発表

1) 金子典代、内海眞、市川誠一. MSM 対象の HIV・STI 検査の受検者の受検動機と予防行動. 日本エイズ学会、2006 年、東京.

2) 金子典代、内海眞、市川誠一. 東海地域の男性同性愛者の HIV 抗体検査の受検動機と性行動：検査経験別の比較. 日本公衆衛生学会、2006 年、富山.

付表1 2006年NLGR・HIV抗体検査会 年齢別集計結果

	29歳未満 N=195 (%)	30-39歳 N=193 (%)	40歳以上 N= 66 (%)	合計 N=461 (%)	χ^2 検定 P値
居住地					
名古屋市	73 (39.5)	54 (29.7)	21 (35.0)	148 (34.7)	0.088
愛知県(名古屋市を除く)	50 (27.0)	52 (28.6)	16 (26.7)	118 (27.6)	
三重県・岐阜県・静岡県	33 (17.8)	25 (13.7)	7 (11.7)	65 (15.2)	
その他	29 (15.7)	51 (28.0)	16 (26.7)	96 (22.5)	
合計	185 (100.0)	182 (100.0)	60 (100.0)	427 (100.0)	
セクシャリティ					
ゲイ	165 (89.2)	175 (93.1)	53 (85.5)	393 (90.3)	0.302
バイセクシャル	17 (9.2)	12 (6.4)	8 (12.9)	37 (8.5)	
わからない	3 (1.6)	0 (0.0)	1 (1.6)	4 (0.9)	
その他	0 0.0	1 0.5	0 0.0	1 0.2	
合計	185 (100.0)	188 (100.0)	62 (100.0)	435 (100.0)	
保健所エイズ検査の受検と認知					
受けたことがある	50 (27.2)	79 (42.0)	20 (32.3)	149 (34.3)	0.005
知っている	113 (61.4)	100 (53.2)	40 (64.5)	253 (58.3)	
知らない	21 (11.4)	9 (4.8)	2 (3.2)	32 (7.4)	
合計	184 (100.0)	188 (100.0)	62 (100.0)	434 (100.0)	
千種保健所エイズ検査(夜間実施)受検と認知					
受けたことがある	0 (0.0)	8 (4.5)	2 (3.5)	10 (2.4)	0.006
知っている	64 (36.0)	73 (41.2)	30 (52.6)	167 (40.5)	
知らない	114 (64.0)	96 (54.2)	25 (43.9)	235 (57.0)	
合計	178 (100.0)	177 (100.0)	57 (100.0)	412 (100.0)	
ナディアパーク日曜検査(迅速)の受検と認知					
受けたことがある	6 (3.4)	10 (5.6)	3 (5.3)	19 (4.6)	0.661
知っている	76 (42.9)	72 (40.4)	28 (49.1)	176 (42.7)	
知らない	95 (53.7)	96 (53.9)	26 (45.6)	217 (52.7)	
合計	177 (100.0)	178 (100.0)	57 (100.0)	412 (100.0)	
保健所検査の利用しやすさ					
利用しやすい	33 (17.9)	33 (17.7)	15 (24.2)	81 (18.8)	0.019
利用しにくい	46 (25.0)	74 (39.8)	18 (29.0)	138 (31.9)	
どちらでもない	105 (57.1)	79 (42.5)	29 (46.8)	213 (49.3)	
合計	184 (100.0)	186 (100.0)	62 (100.0)	432 (100.0)	
エイズ検査が利用しにくい理由(複数回答)					
受けたことがないので分からない	90 (60.8)	66 (43.1)	26 (56.5)	182 (52.4)	0.008
場所が分からない	16 (10.8)	13 (8.5)	0 (0.0)	29 (8.4)	0.068
どんな対応をされるか不安	21 (14.2)	18 (11.8)	0 (0.0)	39 (11.2)	0.028
検査日が分からない	19 (12.8)	13 (8.5)	0 (0.0)	32 (9.2)	0.029
検査日や時間が限られている	50 (33.8)	59 (38.6)	13 (28.3)	122 (35.2)	0.395
検査通知までが長い	27 (18.2)	28 (18.3)	7 (15.2)	62 (17.9)	0.881
知り合いに会わないか不安	6 (4.1)	12 (7.8)	3 (6.5)	21 (6.1)	0.383
対応に問題がある	1 (0.7)	3 (2.0)	2 (4.3)	6 (1.7)	0.238
場所が不便である	8 (5.4)	15 (9.8)	0 (0.0)	23 (6.6)	0.047
生涯エイズ検査受検					
あり	121 (65.4)	152 (81.3)	52 (83.9)	325 (74.9)	0.000
なし	64 (34.6)	35 (18.7)	10 (16.1)	109 (25.1)	
合計	185 (100.0)	187 (100.0)	62 (100.0)	434 (100.0)	

付表1 2006年NLGR・HIV抗体検査会 年齢別集計結果

	29歳未満 N=195 (%)	30-39歳 N=193 (%)	40歳以上 N= 66 (%)	合計 N=461 (%)	χ ² 検定 P値
今回の検査は生涯で何回目ですか？					
1回目	50 (41.7)	37 (25.2)	12 (24.0)	99 (31.2)	<u>0.003</u>
2-3回目	48 (40.0)	55 (37.4)	19 (38.0)	122 (38.5)	
4回目以降	22 (18.3)	55 (37.4)	19 (38.0)	96 (30.3)	
合計	120 (100.0)	147 (100.0)	50 (100.0)	317 (100.0)	
過去1年間のHIV抗体検査受検					
あり	80 (59.3)	89 (56.0)	33 (57.9)	202 (57.5)	0.850
なし	55 (40.7)	70 (44.0)	24 (42.1)	149 (42.5)	
合計	135 (100.0)	159 (100.0)	57 (100.0)	351 (100.0)	
過去1年の受検場所 (複数回答)					
病院や医院	14 (18.2)	15 (17.6)	4 (14.8)	33 (17.5)	0.923
保健所	10 (13.0)	17 (20.0)	3 (11.1)	30 (15.9)	0.364
千種夜間検査	0 (0.0)	2 (2.4)	1 (3.7)	3 (1.6)	0.311
ナディアパーク日曜検査 (迅速)	4 (5.2)	2 (2.4)	2 (7.4)	8 (4.2)	0.452
南新宿	1 (1.3)	1 (1.2)	3 (11.1)	5 (2.6)	<u>0.012</u>
大阪の夜間土曜日曜検査	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (3.7)	2 (1.1)	0.252
NLGR2004・HIV抗体検査会	51 (66.2)	54 (63.5)	19 (70.4)	124 (65.6)	0.800
自宅検査 (郵送検査)	1 (1.3)	2 (2.4)	0 (0.0)	3 (1.6)	0.672
その他	4 (5.2)	2 (2.4)	1 (3.7)	7 (3.7)	0.633
過去1年間の受検経験者におけるNLGR・HIV抗体検査会受検率					
今回が初めて	74 (51.0)	53 (39.3)	17 (32.7)	144 (43.4)	<u>0.015</u>
過去に1-2回	52 (35.9)	45 (33.3)	23 (44.2)	120 (36.1)	
過去に3-4回	19 (13.1)	37 (27.4)	12 (23.1)	68 (20.5)	
合計	145 (100)	135 (100)	52 (100)	332 (100)	
今回のNLGR・HIV抗体検査会をどこで知りましたか？ (複数回答)					
ゲイバー	26 (14.2)	29 (15.5)	12 (19.4)	67 (15.5)	0.626
イベント会場	26 (14.2)	28 (15.1)	7 (11.3)	61 (14.2)	0.762
お友達	71 (38.8)	55 (29.4)	14 (22.6)	140 (32.4)	<u>0.032</u>
ゲイ雑誌	24 (13.1)	28 (15.0)	8 (12.9)	60 (13.9)	0.850
知人・恋人	24 (13.1)	24 (12.8)	7 (11.3)	55 (12.7)	0.932
ちらし、ポスター	31 (16.9)	36 (19.3)	8 (12.9)	75 (17.4)	0.510
インターネットHP	36 (19.7)	25 (13.4)	8 (12.9)	69 (16.0)	0.197
コミュニティーセンターrise	1 (0.5)	5 (2.7)	2 (3.2)	8 (1.9)	0.217
ミクシーNLGR広報	20 (10.9)	21 (11.2)	8 (12.9)	49 (11.3)	0.912
ブログ	21 (11.5)	30 (16.0)	8 (12.9)	59 (13.7)	0.434
その他	15 (8.2)	15 (8.0)	11 (17.7)	41 (9.5)	0.057
今回検査を受ける理由					
感染可能性があるから	54 (29.2)	55 (29.4)	17 (27.4)	126 (29.0)	0.954
体調不安による感染不安	13 (7.0)	8 (4.3)	1 (1.6)	22 (5.1)	0.196
情報に触れて心配になった	48 (25.9)	28 (15.0)	11 (17.7)	87 (20.0)	<u>0.027</u>
性感染症にかかった	7 (3.8)	9 (4.8)	1 (1.6)	17 (3.9)	0.527
新恋人が出来た	33 (17.8)	26 (13.9)	9 (14.5)	68 (15.7)	0.559
恋人や友達と一緒に受ける	47 (25.4)	38 (20.3)	10 (16.1)	95 (21.9)	0.245
身近な人の感染がわかった	14 (7.6)	7 (3.7)	5 (8.1)	26 (6.0)	0.227
ただ単に知りたい	82 (44.3)	70 (37.4)	19 (30.6)	171 (39.4)	0.124
定期的に検査を受けている	37 (20.0)	58 (31.0)	22 (35.5)	117 (27.0)	<u>0.015</u>
他の人に感染させたくないから	68 (36.8)	71 (38.0)	20 (32.3)	159 (36.6)	0.720
最近HIV感染者が増えていること	48 (25.9)	29 (15.5)	13 (21.0)	90 (20.7)	<u>0.046</u>

付表1 2006年NLGR・HIV抗体検査会 年齢別集計結果

	29歳未満 N=195 (%)	30-39歳 N=193 (%)	40歳以上 N= 66 (%)	合計 N=461 (%)	χ^2 検定 P値
HIV感染者のお友達、知り合いの有無					
あり	51 (27.7)	77 (41.2)	32 (51.6)	160 (37.0)	0.001
なし	133 (72.3)	110 (58.8)	30 (48.4)	273 (63.0)	
合計	184 (100.0)	187 (100.0)	62 (100.0)	433 (100.0)	
エンジェルライフ名古屋の活動認知[WEB]					
見た	22 (12.3)	58 (32.0)	19 (32.8)	99 (23.7)	0.000
聞いた	43 (24.0)	22 (12.2)	11 (19.0)	76 (18.2)	
知らない	114 (63.7)	101 (55.8)	28 (48.3)	243 (58.1)	
合計	179 (100.0)	181 (100.0)	58 (100.0)	418 (100.0)	
エンジェルライフ名古屋の活動認知[STI勉強会]					
参加した	13 (7.2)	20 (11.0)	9 (15.5)	42 (10.0)	0.016
聞いたことがある	50 (27.8)	56 (30.9)	26 (44.8)	132 (31.5)	
知らない	117 (65.0)	105 (58.0)	23 (39.7)	245 (58.5)	
合計	180 (100.0)	181 (100.0)	58 (100.0)	419 (100.0)	
エンジェルライフ名古屋の活動認知[コンドーム配布]					
コンドームを受け取った	41 (22.7)	44 (24.3)	23 (38.3)	108 (25.6)	0.025
聞いた	27 (14.9)	39 (21.5)	13 (21.7)	79 (18.7)	
知らない	113 (62.4)	98 (54.1)	24 (40.0)	235 (55.7)	
合計	181 (100.0)	181 (100.0)	60 (100.0)	422 (100.0)	
エンジェルライフ名古屋の活動認知[コミュニティーペーパーの配布]					
見た	17 (9.4)	30 (16.8)	13 (23.2)	60 (14.4)	0.036
聞いたことがある	23 (12.7)	27 (15.1)	10 (17.9)	60 (14.4)	
知らない	141 (77.9)	122 (68.2)	33 (58.9)	296 (71.2)	
合計	181 (100.0)	179 (100.0)	56 (100.0)	416 (100.0)	
エンジェルライフ名古屋の活動認知[コミュニティーセンターrise]					
行った	13 (7.2)	26 (14.4)	13 (22.8)	52 (12.4)	0.010
聞いた	37 (20.6)	39 (21.5)	15 (26.3)	91 (21.8)	
知らない	130 (72.2)	116 (64.1)	29 (50.9)	275 (65.8)	
合計	180 (100.0)	181 (100.0)	57 (100.0)	418 (100.0)	
過去6ヶ月間のアナルセックス経験					
あり	178 (96.2)	184 (98.9)	61 (98.4)	423 (97.7)	0.205
なし	7 (3.8)	2 (1.1)	1 (1.6)	10 (2.3)	
合計	185 (100.0)	186 (100.0)	62 (100.0)	433 (100.0)	
ゴム使用頻度(特定)/過去6ヵ月					
毎回使った	55 (44.0)	63 (50.0)	20 (46.5)	138 (46.9)	0.935
時々使った	34 (27.2)	28 (22.2)	9 (20.9)	71 (24.1)	
使わないことが多かった	15 (12.0)	13 (10.3)	5 (11.6)	33 (11.2)	
まったく使わなかった	21 (16.8)	22 (17.5)	9 (20.9)	52 (17.7)	
合計	125 (100.0)	126 (100.0)	43 (100.0)	294 (100.0)	
ゴム使用頻度(その場限り)/過去6ヵ月					
毎回使った	53 (54.6)	68 (74.7)	22 (57.9)	143 (63.3)	0.073
時々使った	27 (27.8)	17 (18.7)	11 (28.9)	55 (24.3)	
使わないことが多かった	12 (12.4)	4 (4.4)	2 (5.3)	18 (8.0)	
まったく使わなかった	5 (5.2)	2 (2.2)	3 (7.9)	10 (4.4)	
合計	97 (100.0)	91 (100.0)	38 (100.0)	226 (100.0)	

付表1 2006年NLGR・HIV抗体検査会 年齢別集計結果

	29歳未満 N=195 (%)	30-39歳 N=193 (%)	40歳以上 N=66 (%)	合計 N=461 (%)	χ^2 検定 P値
最後のアナルセックスの相手					
特定	80 (59.3)	82 (61.7)	26 (57.8)	188 (60.1)	0.872
その場限り	55 (40.7)	51 (38.3)	19 (42.2)	125 (39.9)	
合計	135 (100.0)	133 (100.0)	45 (100.0)	313 (100.0)	
最後のアナルセックス時ゴム使用					
あり	82 (60.7)	79 (59.8)	26 (57.8)	187 (59.9)	0.940
なし	53 (39.3)	53 (40.2)	19 (42.2)	125 (40.1)	
合計	135 (100.0)	132 (100.0)	45 (100.0)	312 (100.0)	
最後のアナル時ゴム使用(特定の相手)					
あり	48 (51.1)	51 (50.0)	14 (46.7)	113 (50.0)	0.916
なし・不明	46 (48.9)	51 (50.0)	16 (53.3)	113 (50.0)	
合計	94 (100.0)	102 (100.0)	30 (100.0)	226 (100.0)	
最後のアナル時ゴム使用(その場限りの相手)					
あり	48 (69.6)	54 (81.8)	18 (78.3)	120 (75.9)	0.251
なし・不明	21 (30.4)	12 (18.2)	5 (21.7)	38 (24.1)	
合計	69 (100.0)	66 (100.0)	23 (100.0)	158 (100.0)	
今後の特定相手とのコンドーム使用					
毎回使いたい	59 (43.7)	73 (54.5)	19 (41.3)	151 (47.9)	0.294
できるだけ毎回使いたい	49 (36.3)	36 (26.9)	13 (28.3)	98 (31.1)	
使いたくない	16 (11.9)	16 (11.9)	10 (21.7)	42 (13.3)	
考えていない	11 (8.1)	9 (6.7)	4 (8.7)	24 (7.6)	
合計	135 (100.0)	134 (100.0)	46 (100.0)	315 (100.0)	
今後のその場限りの相手とのコンドーム使用					
毎回使いたい	93 (90.3)	91 (91.0)	32 (84.2)	216 (89.6)	0.514
できるだけ毎回使いたい	9 (8.7)	6 (6.0)	4 (10.5)	19 (7.9)	
考えていない	1 (1.0)	3 (3.0)	2 (5.3)	6 (2.5)	
合計	103 (100.0)	100 (100.0)	38 (100.0)	241 (100.0)	
過去6ヶ月間のセックス時の併用品					
なし	4 (2.9)	3 (2.2)	4 (8.5)	11 (3.4)	0.109
コンドーム	113 (81.9)	114 (83.2)	38 (80.9)	265 (82.3)	0.922
水溶性ゼリー	126 (91.3)	124 (90.5)	39 (83.0)	289 (89.8)	0.248
ラッシュ	75 (54.3)	51 (37.2)	14 (29.8)	140 (43.5)	0.002
ゴメオ	5 (3.6)	10 (7.3)	2 (4.3)	17 (5.3)	0.373
他の合法ドラッグ	10 (7.2)	5 (3.6)	0 (0.0)	15 (4.7)	0.096
過去6ヶ月間に使用した商業施設					
ない	4 (2.2)	9 (4.9)	7 (11.3)	20 (4.7)	0.014
ゲイバー	147 (81.7)	126 (68.5)	44 (71.0)	317 (74.4)	0.012
クラブ	75 (41.7)	47 (25.5)	9 (14.5)	131 (30.8)	0.000
サウナ系ハッテン場	65 (36.1)	71 (38.6)	43 (69.4)	179 (42.0)	0.000
マンション系ハッテン場	41 (22.8)	31 (16.8)	13 (21.0)	85 (20.0)	0.359
ビデオBOX系ハッテン場	7 (3.9)	10 (5.4)	5 (8.1)	22 (5.2)	0.430
その他のハッテン場	17 (9.4)	26 (14.1)	10 (16.1)	53 (12.4)	0.254
ミクシー	113 (62.8)	107 (58.2)	27 (43.5)	247 (58.0)	0.030
出会い系サイト(パソコン)	89 (49.4)	71 (38.6)	22 (35.5)	182 (42.7)	0.051
出会い系サイト(携帯)	69 (38.3)	48 (26.1)	15 (24.2)	132 (31.0)	0.019

付表1 2006年NLGR・HIV抗体検査会 年齢別集計結果

	29歳未満 N=195 (%)	30-39歳 N=193 (%)	40歳以上 N= 66 (%)	合計 N=461 (%)	χ^2 検定 P値
自身のHIVに感染する可能性					
全くなかった	14 (7.6)	6 (3.2)	0 (0.0)	20 (4.6)	0.075
あまりなかった	27 (14.7)	23 (12.4)	10 (16.1)	60 (13.9)	
少し可能性があった	97 (52.7)	100 (53.8)	33 (53.2)	230 (53.2)	
かなり可能性があった	28 (15.2)	46 (24.7)	15 (24.2)	89 (20.6)	
わからない	18 (9.8)	11 (5.9)	4 (6.5)	33 (7.6)	
合計	184 (100.0)	186 (100.0)	62 (100.0)	432 (100.0)	
コンドーム使用やエイズに対する考え方					
1) 相手がコンドームなしでのセックスを望むとつけようといいいにくい(性交経験者のみ)					
強く思う・ややそう思う	89 (50.6)	84 (46.2)	27 (47.4)	200 (48.2)	0.699
思わない	87 (49.4)	98 (53.8)	30 (52.6)	215 (51.8)	
合計	176 (100.0)	182 (100.0)	57 (100.0)	415 (100.0)	
2) 以前と比べてコンドームを使用する友達が増えた(性交経験者のみ)					
強く思う・ややそう思う	134 (77.9)	153 (84.1)	49 (86.0)	336 (81.8)	0.219
思わない	38 (22.1)	29 (15.9)	8 (14.0)	75 (18.2)	
合計	172 (100.0)	182 (100.0)	57 (100.0)	411 (100.0)	
3) 付き合いが長くなるほど使わなくなる(性交経験者のみ)					
強く思う・ややそう思う	123 (71.9)	141 (78.3)	44 (74.6)	308 (75.1)	0.380
思わない	48 (28.1)	39 (21.7)	15 (25.4)	102 (24.9)	
合計	171 (100.0)	180 (100.0)	59 (100.0)	410 (100.0)	
4) ドラッグを使っているときはコンドームを使わなくなりがちである(性交経験者のみ)					
強く思う・ややそう思う	86 (51.2)	87 (49.4)	26 (49.1)	199 (50.1)	0.935
思わない	82 (48.8)	89 (50.6)	27 (50.9)	198 (49.9)	
合計	168 (100.0)	176 (100.0)	53 (100.0)	397 (100.0)	
5) 治療薬により感染に不安を持たないものが出てきた(性交経験者のみ)					
強く思う・ややそう思う	50 (28.9)	67 (36.8)	27 (47.4)	144 (35.0)	0.031
思わない	123 (71.1)	115 (63.2)	30 (52.6)	268 (65.0)	
合計	173 (100.0)	182 (100.0)	57 (100.0)	412 (100.0)	

付表2 2006年NLGR・HIV抗体検査会 東海地域MSM検査経験別集計結果

	検査経験なし N=86 (%)	検査経験有り N=256 (%)	合計 N=342 (%)	χ^2 検定 P値
年齢				
30歳未満	55 (64.0)	101 (40.1)	156 (46.2)	<u>0.001</u>
30-40歳未満	22 (25.6)	114 (45.2)	136 (40.2)	
40歳以上	9 (10.5)	37 (14.7)	46 (13.6)	
合計	86 (100.0)	252 (100.0)	338 (100.0)	
セクシャリティ				
ゲイ	70 (81.4)	233 (91.0)	303 (88.6)	<u>0.010</u>
バイセクシャル	12 (14.0)	22 (8.6)	34 (9.9)	
わからない	3 (3.5)	1 (0.4)	4 (1.2)	
その他	1 (1.2)	0 (0.0)	1 (0.3)	
合計	86 (100.0)	256 (100.0)	342 (100.0)	
保健所エイズ検査の受検と認知				
受けたことがある	0 (0.0)	108 (42.4)	108 (31.7)	<u>0.000</u>
知っている	70 (81.4)	137 (53.7)	207 (60.7)	
知らない	16 (18.6)	10 (3.9)	26 (7.6)	
合計	86 (100.0)	255 (100.0)	341 (100.0)	
千種保健所エイズ検査(夜間実施)受検と認知				
受けたことがある	0 (0.0)	10 (4.1)	10 (3.0)	<u>0.000</u>
知っている	19 (22.4)	129 (52.9)	148 (45.0)	
知らない	66 (77.6)	105 (43.0)	171 (52.0)	
合計	85 (100.0)	244 (100.0)	329 (100.0)	
ナディアパーク日曜検査(迅速)の受検と認知				
受けたことがある	0 (0.0)	18 (7.3)	18 (5.5)	<u>0.000</u>
知っている	30 (35.3)	136 (55.5)	166 (50.3)	
知らない	55 (64.7)	91 (37.1)	146 (44.2)	
合計	85 (100.0)	245 (100.0)	330 (100.0)	
保健所検査の利用しやすさ				
利用しやすい	8 (9.4)	52 (20.6)	60 (17.8)	<u>0.000</u>
利用しにくい	18 (21.2)	93 (36.8)	111 (32.8)	
どちらでもない	59 (69.4)	108 (42.7)	167 (49.4)	
合計	85 (100.0)	253 (100.0)	338 (100.0)	
エイズ検査が利用しにくい理由 (複数回答)				
受けたことがないので分からない	60 (78.9)	86 (43.4)	146 (53.3)	<u>0.000</u>
場所が分からない	7 (9.2)	17 (8.6)	24 (8.8)	0.870
どんな対応をされるか不安	10 (13.2)	20 (10.1)	30 (10.9)	0.468
検査日が分からない	8 (10.5)	20 (10.1)	28 (10.2)	0.917
検査日や時間が限られている	15 (19.7)	86 (43.4)	101 (36.9)	<u>0.000</u>
検査通知までが長い	7 (9.2)	41 (20.7)	48 (17.5)	<u>0.025</u>
知り合いに会わないか不安	4 (5.3)	14 (7.1)	18 (6.6)	0.787
対応に問題がある	0 (0.0)	6 (3.0)	6 (2.2)	0.191
場所が不便である	0 (0.0)	19 (9.6)	19 (6.9)	<u>0.005</u>

	検査経験なし N=86 (%)	検査経験有り N=256 (%)	合計 N=342 (%)	χ^2 検定 P値
今回のNLGR・HIV抗体検査会をどこで知りましたか？ (複数回答)				
ゲイバー	11 (12.8)	49 (19.2)	60 (17.6)	0.176
イベント会場	15 (17.4)	29 (11.4)	44 (12.9)	0.150
お友達	41 (47.7)	69 (27.1)	110 (32.3)	<u>0.000</u>
ゲイ雑誌	15 (17.4)	28 (11.0)	43 (12.6)	0.119
知人・恋人	17 (19.8)	24 (9.4)	41 (12.0)	<u>0.011</u>
ちらし、ポスター	14 (16.3)	48 (18.8)	62 (18.2)	0.597
インターネットHP	9 (10.5)	45 (17.6)	54 (15.8)	0.115
コミュニティーセンターrise	1 (1.2)	6 (2.4)	7 (2.1)	0.684
ミクシーNLGR広報	7 (8.1)	24 (9.4)	31 (9.1)	0.723
ブログ	5 (5.8)	37 (14.5)	42 (12.3)	<u>0.034</u>
その他	1 (1.2)	27 (10.6)	28 (8.2)	<u>0.006</u>
今回検査を受ける理由				
感染可能性があるから	26 (30.2)	79 (31.1)	105 (30.9)	0.880
体調不安による感染不安	5 (5.8)	12 (4.7)	17 (5.0)	0.775
情報に触れて心配になった	32 (37.2)	43 (16.9)	75 (22.1)	<u>0.000</u>
性感染症にかかった	3 (3.5)	10 (3.9)	13 (3.8)	1.000
新恋人が出来た	17 (19.8)	36 (14.2)	53 (15.6)	0.216
恋人や友達と一緒に受ける	23 (26.7)	38 (15.0)	61 (17.9)	<u>0.014</u>
身近な人の感染がわかった	5 (5.8)	16 (6.3)	21 (6.2)	0.872
ただ単に知りたい	42 (48.8)	96 (37.8)	138 (40.6)	0.071
定期的に検査を受けている	1 (1.2)	102 (40.2)	103 (30.3)	<u>0.000</u>
他の人に感染させたくないから	35 (40.7)	84 (33.1)	119 (35.0)	0.200
最近HIV感染者が増えていることを知ったから	22 (25.6)	48 (18.9)	70 (20.6)	0.185
HIV感染者のお友達、知り合いの有無				
あり	11 (12.9)	94 (36.7)	105 (30.8)	<u>0.000</u>
なし	74 (87.1)	162 (63.3)	236 (69.2)	
合計	85 (100.0)	256 (100.0)	341 (100.0)	
エンジェルライフ名古屋の活動認知[WEB]				
見た	5 (6.1)	62 (25.4)	67 (20.6)	<u>0.000</u>
聞いた	9 (11.0)	51 (20.9)	60 (18.4)	
知らない	68 (82.9)	131 (53.7)	199 (61.0)	
合計	82 (100.0)	244 (100.0)	326 (100.0)	
エンジェルライフ名古屋の活動認知[STI勉強会]				
参加した	1 (1.2)	33 (13.4)	34 (10.4)	<u>0.000</u>
聞いたことがある	15 (18.3)	85 (34.6)	100 (30.5)	
知らない	66 (80.5)	128 (52.0)	194 (59.1)	
合計	82 (100.0)	246 (100.0)	328 (100.0)	
エンジェルライフ名古屋の活動認知[コンドーム配布]				
コンドームを受け取った	9 (10.8)	71 (28.6)	80 (24.2)	<u>0.000</u>
聞いた	6 (7.2)	60 (24.2)	66 (19.9)	
知らない	68 (81.9)	117 (47.2)	185 (55.9)	
合計	83 (100.0)	248 (100.0)	331 (100.0)	

	検査経験なし N=86 (%)	検査経験有り N=256 (%)	合計 N=342 (%)	χ^2 検定 P値
エンジェルライフ名古屋の活動認知[コミュニティーペーパーの配布]				
見た	6 (7.3)	40 (16.5)	46 (14.2)	0.002
聞いたことがある	5 (6.1)	42 (17.3)	47 (14.5)	
知らない	71 (86.6)	161 (66.3)	232 (71.4)	
合計	82 (100.0)	243 (100.0)	325 (100.0)	
エンジェルライフ名古屋の活動認知[コミュニティーセンターrise]				
行った	4 (4.9)	34 (13.9)	38 (11.6)	0.000
聞いた	7 (8.5)	63 (25.7)	70 (21.4)	
知らない	71 (86.6)	148 (60.4)	219 (67.0)	
合計	82 (100.0)	245 (100.0)	327 (100.0)	
過去6ヶ月間のアナルセックス経験				
あり	60 (74.1)	186 (74.1)	246 (74.1)	0.996
なし	21 (25.9)	65 (25.9)	86 (25.9)	
合計	81 (100.0)	251 (100.0)	332 (100.0)	
ゴム使用頻度(特定)/過去6ヵ月				
毎回使った	20 (36.4)	87 (52.4)	107 (48.4)	0.193
時々使った	15 (27.3)	39 (23.5)	54 (24.4)	
使わないことが多かった	7 (12.7)	14 (8.4)	21 (9.5)	
まったく使わなかった	13 (23.6)	26 (15.7)	39 (17.6)	
合計	55 (100.0)	166 (100.0)	221 (100.0)	
ゴム使用頻度(その場限り)/過去6ヵ月				
毎回使った	17 (43.6)	85 (63.4)	102 (59.0)	0.145
時々使った	16 (41.0)	33 (24.6)	49 (28.3)	
使わないことが多かった	4 (10.3)	9 (6.7)	13 (7.5)	
まったく使わなかった	2 (5.1)	7 (5.2)	9 (5.2)	
合計	39 (100.0)	134 (100.0)	173 (100.0)	
最後のアナルセックスの相手				
特定	37 (64.9)	95 (52.5)	132 (55.5)	0.100
その場限り	20 (35.1)	86 (47.5)	106 (44.5)	
合計	57 (100.0)	181 (100.0)	238 (100.0)	
最後のアナルセックス時ゴム使用				
あり	29 (50.0)	115 (63.5)	144 (60.3)	0.067
なし	29 (50.0)	66 (36.5)	95 (39.7)	
合計	58 (100.0)	181 (100.0)	239 (100.0)	
最後のアナル時ゴム使用(特定の相手)				
あり	15 (40.5)	47 (49.5)	62 (47.0)	0.356
なし・不明	22 (59.5)	48 (50.5)	70 (53.0)	
合計	37 (100.0)	95 (100.0)	132 (100.0)	
最後のアナル時ゴム使用(その場限りの相手)				
あり	14 (70.0)	68 (79.1)	82 (77.4)	0.383
なし・不明	6 (30.0)	18 (20.9)	24 (22.6)	
合計	20 (100.0)	86 (100.0)	106 (100.0)	

	検査経験なし N=86 (%)	検査経験有り N=256 (%)	合計 N=342 (%)	χ^2 検定 P値
検査経験の有無(最後が特定の相手)				
あり	22 (59.5)	48 (50.5)	70 (53.0)	0.356
なし	15 (40.5)	47 (49.5)	62 (47.0)	
合計	37 (100.0)	95 (100.0)	132 (100.0)	
検査経験の有無(最後がその場限りの相手)				
あり	6 (30.0)	18 (20.9)	24 (22.6)	0.554
なし	14 (70.0)	68 (79.1)	82 (77.4)	
合計	20 (100.0)	86 (100.0)	106 (100.0)	
今後の特定相手とのコンドーム使用				
毎回使いたい	31 (42.5)	130 (56.0)	161 (52.8)	<u>0.025</u>
できるだけ毎回使いたい	30 (41.1)	56 (24.1)	86 (28.2)	
使いたくない	6 (8.2)	32 (13.8)	38 (12.5)	
考えていない	6 (8.2)	14 (6.0)	20 (6.6)	
合計	73 (100.0)	232 (100.0)	305 (100.0)	
今後のその場限りの相手とのコンドーム使用				
毎回使いたい	42 (82.4)	167 (91.3)	209 (89.3)	0.188
できるだけ毎回使いたい	7 (13.7)	12 (6.6)	19 (8.1)	
考えていない	2 (3.9)	4 (2.2)	6 (2.6)	
合計	51 (100.0)	183 (100.0)	234 (100.0)	
過去6ヶ月間のセックス時の併用品				
なし	2 (3.3)	4 (2.2)	6 (2.4)	0.636
コンドーム	43 (71.7)	158 (84.9)	201 (81.7)	<u>0.021</u>
水溶性ゼリー	55 (91.7)	167 (89.8)	222 (90.2)	0.669
ラッシュ	30 (50.0)	80 (43.0)	110 (44.7)	0.344
ゴメオ	3 (5.0)	9 (4.8)	12 (4.9)	1.000
他の合法ドラッグ	5 (8.3)	6 (3.2)	11 (4.5)	0.143
過去6ヶ月間に使用した商業施設				
ない	3 (3.6)	9 (3.6)	12 (3.6)	0.990
ゲイバー	62 (73.8)	186 (74.4)	248 (74.3)	0.915
クラブ	23 (27.4)	75 (30.0)	98 (29.3)	0.648
サウナ系ハッテン場	31 (36.9)	119 (47.6)	150 (44.9)	0.088
マンション系ハッテン場	18 (21.4)	54 (21.6)	72 (21.6)	0.974
ビデオBOX系ハッテン場	1 (1.2)	17 (6.8)	18 (5.4)	<u>0.049</u>
その他のハッテン場	8 (9.5)	36 (14.4)	44 (13.2)	0.253
ミクシー	41 (48.8)	135 (54.0)	176 (52.7)	0.410
出会い系サイト(パソコン)	36 (42.9)	108 (43.2)	144 (43.1)	0.956
出会い系サイト(携帯)	21 (25.0)	96 (38.4)	117 (35.0)	<u>0.026</u>

	検査経験なし N=86 (%)	検査経験有り N=256 (%)	合計 N=342 (%)	χ^2 検定 P値
自身のHIVに感染する可能性				
全くなかった	5 (6.3)	5 (2.0)	10 (3.1)	0.051
あまりなかった	7 (8.9)	42 (16.9)	49 (15.0)	
少し可能性があった	43 (54.4)	131 (52.8)	174 (53.2)	
かなり可能性があった	15 (19.0)	56 (22.6)	71 (21.7)	
わからない	9 (11.4)	14 (5.6)	23 (7.0)	
合計	79 (100.0)	248 (100.0)	327 (100.0)	
相手がコンドームなしでのセックスを望むとつけようといにくい(性交経験者のみ)				
強く思う・ややそう思う	42 (54.5)	114 (46.2)	156 (48.1)	0.198
思わない	35 (45.5)	133 (53.8)	168 (51.9)	
合計	77 (100.0)	247 (100.0)	324 (100.0)	
以前と比べてコンドームを使用する友達が増えた(性交経験者のみ)				
強く思う・ややそう思う	65 (83.3)	188 (77.7)	253 (79.1)	0.286
思わない	13 (16.7)	54 (22.3)	67 (20.9)	
合計	78 (100.0)	242 (100.0)	320 (100.0)	
付き合いが長くなるほど使わなくなる(性交経験者のみ)				
強く思う・ややそう思う	62 (81.6)	176 (72.1)	238 (74.4)	0.099
思わない	14 (18.4)	68 (27.9)	82 (25.6)	
合計	76 (100.0)	244 (100.0)	320 (100.0)	
ドラッグを使っているときはコンドームを使わなくなりがちである(性交経験者のみ)				
強く思う・ややそう思う	37 (48.7)	114 (48.5)	151 (48.6)	0.979
思わない	39 (51.3)	121 (51.5)	160 (51.4)	
合計	76 (100.0)	235 (100.0)	311 (100.0)	
治療薬により感染に不安を持たないものが出てきた(性交経験者のみ)				
強く思う・ややそう思う	22 (28.2)	88 (36.1)	110 (34.2)	0.203
思わない	56 (71.8)	156 (63.9)	212 (65.8)	
合計	78 (100.0)	244 (100.0)	322 (100.0)	

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
男性同性間の HIV 感染対策とその評価に関する研究

大阪地域における同性間の HIV/STI 感染予防啓発の普及促進に関する研究

分担研究者：鬼塚哲郎（京都産業大学）

研究協力者：山田創平、辻宏幸（財団法人エイズ予防財団）、後藤大輔、塩野徳史、内田優、中村英芳、町登志雄、大畑泰次郎、土井信吾、滝口勝大、山田智久（MASH大阪）、木村博和（横浜市南福祉保健センター）、金子典代、大森佐知子、岳中美江（名古屋市立大学大学院）、日高庸晴（京都大学大学院）、市川誠一（名古屋市立大学）

研究要旨

平成18年度、MASH大阪では以下の研究を実施した。

1. 以下の介入プログラムを執行した：1) 関連介入プログラムとして①ドロップインセンター関連コミュニティプログラム（手話教室、カフェなど）、②若年層ネットワーク構築支援プログラム、が執行された。2) 間接介入プログラムとして、①その他の啓発資材の配布が執行された。3) 直接介入プログラムとして、①STI勉強会が執行された。4) 複合介入プログラムとして①コミュニティペーパーの発行、②予防啓発イベントの開催、③ホームページでの介入、が執行された。
2. 予防介入事業の進捗をふまえ、効果評価の基礎データを得るために、堂山地区にアクセスするMSM集団の規模を推定する調査を行った。その結果、母集団の規模を約18,000人、うち大阪府在住者数を9,800人と推定した。
3. より効果的なプログラムの執行のために、主に「行動段階論」「ソーシャルマーケティング」などの手法・概念を用いつつ、現在執行されている各プログラムに関して、前年度に構築した関連・間接・直接・複合介入モデルに加え、それらをより精密に整理した新たな介入モデルの構築を試みた。
4. ソーシャルネットワークの概念を導入し、プログラムの立案と執行をより戦略的に展開するための展望を得た。
5. フォローアップ調査を実施した。その結果、全体として予防知識の正答率、抗体検査の受検率は前回調査（2004年度）と違いがなかったが、コンドーム使用頻度は上昇傾向を示していた。また、SaL+受取り群において予防知識の正答率や受検率が高かったが、コンドーム常用率との関連はみられなかった。
6. 昨年度、バーなどで実施された精密調査の分析を進めた。その結果、コンドーム使用のステージを無関心期、関心期、準備期、行動期、維持期に分類すると、MASH大阪の予防啓発イベントの参加や認知率は、行動/維持/準備期のものの方が高かった。また、以前と比べてコンドームを使用する友達が多くなったと回答したものの割合は行動期・維持期のものに多く、相手にコンドームなしでセックスすることを望まれると断りにくいと回答したものは無関心期のものに多いことが明らかになった。
7. 昨年度に引き続き、社会心理学的な手法を用いイベントに参加したボランティアスタッフのモチベーション水準や組織関与度などを調査し、CBOの運営に関して示唆を得た。

A. 研究の目的

本研究の目的は、MASH大阪による昨年度までの予防介入研究事業の結果をふまえたうえで、2006年度に執行された研究事業を記述・分析し、効果評価と照合することで、個別施策層向け予防介入事業のモデル構築を試みるところにある。

B. 研究対象と方法

本研究の対象は2006年度にMASH大阪によって執行された予防介入プログラムであり、後述する効果評価の結果と比較検討したうえで考察を加える。比較検討、考察にあたっては、疫学とその周辺領域のみならず、組織論、ソーシャルマーケティング、社会学といった広い領域からの言及を行うこととする。

C. 研究結果

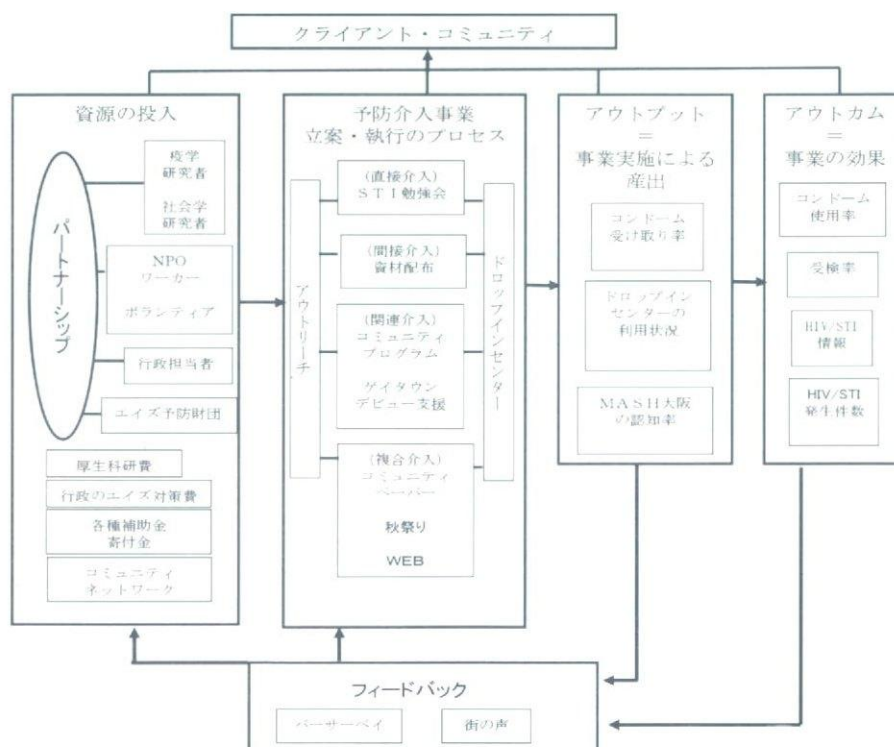
以下、研究結果としてMASH大阪の執行した事業全体について順次言及する。

1. 事業モデル

組織論におけるオープンシステムモデルののちとしてMASH大阪の事業全体を図式化したものが表1である。これによると、MASH大阪の事業は、

- (1) ヒト・カネ・情報などの資源を社会全般から集め、
 - (2) クライアント集団へHIV/STI予防介入を働きかけるプログラムを立案・執行し、
 - (3) プログラム執行の直接の産出であるアウトプットを産み出し、
 - (4) プログラム執行の成果（アウトカム）を評価し、
 - (5) その評価をクライアント・コミュニティおよび次のプログラムにフィードバックする、
- という回路で表わすことができる。

【表1 MASH大阪の事業モデル】



2、クライアントの定義

2004年度から、事業の対象となるクライアントを、堂山・ミナミ・新世界の商業施設を利用し、MASH大阪の発信する情報にアクセスするMSM (Men who have Sex with Men: 男性と性交渉を持つ男性) と定義した。今年度もこの定義を踏襲した。

3、プログラムの類型化とその再検討

プログラムのカテゴリーに関しては従来、間接介入プログラム・直接介入プログラム・関連介入プログラムの3つの類型を設定し、なおかつそれらを複合的に組み合わせた複合介入プログラムを設定してきた(表2)。

【表2 MASH大阪の段階別介入モデル1】

	【プログラムレベル】	【プログラム例】	【アウトプット】	【アウトカム】
複合介入 秋祭り (予防啓発イベント)	関連介入	dista関連プログラム	課題の認知	コミュニティへの 帰属意識の涵養
	間接介入	啓発資材の配布	課題の内容の理解 解決策の認知	予防への行動変容
	直接介入	STI勉強会	クライアント個人の ニーズの把握	予防への行動変容

段階的介入モデルが設定された理由の一つには大阪のゲイコミュニティが抱える

様々なニーズの把握があった(表3)。

【表3 大阪のゲイコミュニティの課題】

課題	エビデンス
【梅毒の拡がり】 受検者の14.6%~19.4%が梅毒TPHA陽性	SWITCH2000~2002の結果
【HIVの拡がり】 受検者の1.3%~3.3%がHIV抗体陽性	同上
【B型肝炎の拡がり】 受検者の15.4%~19.7%がHBV抗体陽性	SWITCH2000~2002の結果
【受検行動は大幅に改善】 過去1年間のHIV検査受検率が1999年度の19%から2004年度の36%まで上昇	2002~2004年度フォローアップ調査
【低いコンドーム使用率】 不特定相手とのアナルセックス時のコンドーム毎回使用率56%。特定相手45%。	同上
【薬物使用の拡がり】 5メオなどの脱法ドラッグ使用経験率23.5%	2003年度フォローアップ調査

こうした課題をコミュニティにどのように還元するかが検討され、その結果、MASH大阪の課題は、コミュニティに対して何をもって、どのように介入するかのみならず、コミュニティ自体を拡大し、活性化することが含まれると認識された。段階的介入モデルは上記のような問題認識の下、事業の領域を整理し、それぞれのプログラムの目的を明確にするという意味において

現在まで一定の成果を果たしてきたといえる。しかしながら昨今、MASH大阪が展開するプログラムには、従来の段階的介入モデルでは説明が困難な様々な分析や言及がなされるに至り、その結果「ソーシャルマーケティング」と「ソーシャルネットワーク」が主要な検討課題であるとの認識を得た。

4、ソーシャルマーケティングとMASH大阪の事業

Philip Kotler と Alan R. Andreasen は非営利組織のマーケティング（ソーシャルマーケティング）戦略を次のように定義する。

「マーケティング・マネジメントとは、ターゲット顧客の行動に影響を及ぼすことを目的とした計画とプログラムの実施プロセスであり、それは、個人的・組織的な目標を達成するために、有益な交換の創造と維持をとおして行われる（Philip Kotler, Alan R. Andreasen; Strategic Marketing for Nonprofit Organizations, 6th Edition, 2003）」

ソーシャルマーケティングを実施するとき、「計画」と「実施」のプロセスそのものがマネジメントであり、プロセスの全ての段

階において目標へと至るための戦略的視点が欠かせない。MASH大阪ではソーシャルマーケティングの視点から、全てのプログラムの対象クライアントを細分化し、ニーズを勘案した上で目指すべき目標と実施内容を設定し、その結果を評価するために、3軸からなるプログラム評価モデルを作成した。このモデルはいまだ開発途上であり、今後修正を加えてゆく。

このモデルでは各プログラムの特徴、効果的な部分、課題となる部分などを整理している。具体的には「行動変容のレベル」「ニーズの細やかさのレベル」「予防行動のレベル」の3軸から各プログラムの実態を検討するようにデザインされている。以下、プログラムごとに例示する（図1）。なお、円柱の伸びている部分が、該当プログラムが「成果を目指し、アプローチの対象」としている領域である。